

各地支部の立党式

各地に於ける宣傳演説會に於て吾が党の主義綱領に共鳴するもの多し各地に支部組織運動が起りつつありあつたが準備尚未なり立党式を擧ぐるに至つた

黒崎民憲党

八月一日午後六時より天地館に於て舉行立党式に舉行。立党式を終りて後部会演説會を閉催した。構成分子は主として同地。安川電氣製作所の従業員である。

小倉民憲党

八月一日午後七時より同市宗玄寺にて舉行。立党式後記念演説會を閉催して林、米村、今村、浅原、麻生の諸君が熱弁を振る。聴衆場外溢り盛況を極む。

行橋民憲党

八月十六日行橋市行橋町に於て立党式舉行。構成分子は同町明治紡績の従業員である。

弁論部公開演説會

豫而弁論部にて練習中の弁論部員にて第一回公開演説會を十月十八日八時市光ニコく座に於て開催弁論部員十八名各自火の如き熱弁を振る多大の成功を納めた。聴衆約六百名を極めた。弁論部員は組織部と共力一致して各地に於ける宣傳と組織に積極的の活動する事となつた。

無産政黨組織九州地方協議會に於て

民憲党の本加保留となる

豊前八幡市同志會本部に於て開催せられたる九州無産團體協議會に於て無産政黨組織九州協議會が成立し第一回聯合會も九月廿七日午後一時から衆民組合九州聯合會本部(福岡)に於て開催された。民憲党よりは松尾、河島の二君が出席した。総同盟九州聯合會、農民組合佐賀縣聯合會、九州炭坑元組合の代表より「民憲党の本加には賛成なれども浅原健三君を除くとする條件附にて参加すべし」との提議あり、之に對して先づ民憲党の参加の可否を決定すべしと一党員たる浅原君の除名云々は別個の問題とすべしと説くものあり議場擾然として決する所を知らず民憲党の参加は次回迄保留する事に決定した。之は先の民憲党の内紛の延長にして其際撤退せる総同盟九州聯合會選出の中央委員が再び本準備委員會に於て反淺原熱烈のあふりたるものと見る事が出来る。

無産政黨組織九州協議會に於て

民憲党の本加を満場一致にて可決す

屢に開かれたる第一回協議會の協定に依り第一回聯合會の協議會が十月十六日福岡市の民憲聯合九州聯合會本部に開催された。出席因体十人團體にて民憲党よりは河島、豊田の二君が出席した。開會へは頭代議員の資格審査に際し審査委員會に於て九州民憲党の資格問題に就いて猛烈なる論戦があり遂に第一回無産政黨組織九州協議會に於て参加保留となつてゐた民憲党を満場一致を以て参加を承認するに至つた。